



様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月30日

函館市長 様

提出者

住 所 函館市亀田中野町219番地14

氏 名 株式会社 西武建設運輸

代表取締役 岸 寛樹

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号0138-47-2700

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	函館市内現場
事業場の所在地	函館市内各現場
計画期間	令和5年4月1日から令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	令和4年度売上 1,733,113千円
③ 従業員数	29人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	がれき類 自己中間処理(破碎) 木くず 自己中間処理(破碎) 廃プラスチック 中間処理(焼却・選別) → 最終処分 ガラスくず及び陶磁器くず 中間処理(選別) → 最終処分 石膏ボード 中間処理(破碎・選別) → 中間処理(焼却) → 最終処分(埋立) 金属屑 中間処理(せん断) → 最終処分(埋立) 廃プラ・繊維くず(畳) 中間処理(焼却・選別) → 最終処分 廃油 自己中間処理(焼却) → 委託最終処分(埋立)

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

代表取締役 → 専務取締役 → 現場責任者 → 経理部 (マニフェスト管理)

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度 (令和4年度) 実績】 「別紙1-1のとおり」	
	産業廃棄物の種類	—
	排 出 量	—
	(これまでに実施した取組) 現場内での分別	
②計画	【目標】 「別紙1-1のとおり」	
	産業廃棄物の種類	—
	排 出 量	—
	(今後実施する予定の取組) 現状どおり	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類 (コンクリート・アスファルト)、木くず、廃プラ、石膏ボード、廃油、廃プラ・繊維くず、ガラス陶磁器 現場内できちんと分別し、極力混合廃棄物を出さない
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状どおり

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】 「別紙1-2のとおり」		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	—	—
	(これまでに実施した取組) 現場内での分別		
② 計画	【目標】 「別紙1-2のとおり」		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	—	—
	(今後実施する予定の取組) 現状どおり		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和4年度）実績】 「別紙1-3のとおり」		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	—	—
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	—	—
(これまでに実施した取組) 現場内での分別			
② 計画	【目標】 「別紙1-3のとおり」		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	—	—
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	—	—
(今後実施する予定の取組) 現状どおり			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	—	—
	(これまでに実施した取組) 現場内での分別		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	—	—
	(今後実施する予定の取組) 現状どおり		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】 「別紙1-5のとおり」		
	産業廃棄物の種類	—	—
	全処理委託量	—	—
	優良認定処理業者への処理委託量	—	—
	再生利用業者への処理委託量	—	—
	認定熱回収業者への処理委託量	—	—
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	—	—
	(これまでに実施した取組) 現場内での分別		

② 計画	【目標】 「別紙1-5のとおり」	
	産業廃棄物の種類	—
	全処理委託量	—
	優良認定処理業者への 処理委託量	—
	再生利用業者への 処理委託量	—
	認定熱回収業者への 処理委託量	—
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	—
	(今後実施する予定の取組) 現状どおり	
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

【別紙】1-1

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(令和4年度)実績】								
	産業廃棄物の種類	がれき類 (コンクリート)	がれき類 (アスファルト)	がれき類 (その他がれき類)	木くず	廃プラスチック	廃油	廃プラ・繊維	ガラス陶磁器
	排 出 量	4,650.27t	664.13t	20.28t	718.36t	123.772t	4.33t	15.11t	100.74t
	(これまでに実施した取組) 現場内での分別作業								
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	がれき類 (コンクリート)	がれき類 (アスファルト)	がれき類 (その他がれき類)	木くず	廃プラスチック	廃油	廃プラ・繊維	ガラス陶磁器
	排 出 量	4,600.0t	600.0t	20.0t	710.0t	120.0t	4.0t	15.0t	100.0t
	(今後実施する予定の取組) 現状どおり								

【別紙】1-1

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項									
①現状	【前年度(令和4年度)実績】								
	産業廃棄物の種類	石膏ボード	紙くず	金属くず	燃えがら	混合廃棄物 (安定型)	混合廃棄物 (管理型)	水銀使用製品 産業廃棄物	
	排 出 量	134.18t	0.35t	5.33t	2.86t	0.36t	24.39t	0.551t	
	(これまでに実施した取組) 現場内での分別作業								
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	石膏ボード	紙くず	金属くず	燃えがら	混合廃棄物 (安定型)	混合廃棄物 (管理型)	水銀使用製品 産業廃棄物	
	排 出 量	130.0t	0.0t	5.0t	2.0t	0.0t	24.0t	0.5t	
	(今後実施する予定の取組) 現状どおり								

【別紙】1-2

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項									
①現状	【前年度(令和4年度)実績】								
	産業廃棄物の種類	がれき類 (コンクリート)	がれき類 (アスファルト)	木くず	—	—	—	—	—
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	1,027.70t	88.99t	227.49t	—	—	—	—	—
	(これまでに実施した取組) 現場内での分別作業								
②計画	【目標】								
	産業廃棄物の種類	がれき類 (コンクリート)	がれき類 (アスファルト)	木くず	—	—	—	—	—
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	1,000.0t	80.0t	220.0t	—	—	—	—	—
	(今後実施する予定の取組) 現状どおり								

【別紙】1-3

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

		【前年度(令和4年度)実績】							
①現状	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	廃油	廃プラ・繊維	紙くず	—	—	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	—	—	—	—	—	—	—	—
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0.71t	3.90t	1.62t	0.327t	—	—	—	—
	(これまでに実施した取組) 現場内での分別作業								
		【目標】							
②計画	産業廃棄物の種類	廃プラスチック	廃油	廃プラ・繊維	紙くず	—	—	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	—	—	—	—	—	—	—	—
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.5t	3.6t	1.60t	0.0t	—	—	—	—
	(今後実施する予定の取組) 現状どおり								

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度(令和4年度)実績】				
	産業廃棄物の種類	がれき類 (コンクリート)	がれき類 (アスファルト)	がれき類 (そのほかがれき類)	木くず
	全処理委託量	3,622.57t	575.14t	20.28t	490.87t
	優良認定処理業者への 処理委託量				4.86t
	再生利用業者への 処理委託量	3,622.57t	575.14t	20.28t	490.16t
	認定熱回収業者への 処理委託量				
	認定熱回収業者以外の 熱処理を行う業者への 処理委託量				
	(これまでに実施した取組) 現場内での分別作業				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	がれき類 (コンクリート)	がれき類 (アスファルト)	がれき類 (そのほかがれき類)	木くず
	全処理委託量	3,600.0t	520.0t	20.0t	490.0t
	優良認定処理業者への 処理委託量				
	再生利用業者への 処理委託量				
	認定熱回収業者への 処理委託量				
	認定熱回収業者以外の 熱処理を行う業者への 処理委託量				
	(今後実施する予定の取組) 現場内での分別作業				

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

		【前年度(令和4年度)実績】				
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック	廃油	廃プラ・繊維	ガラス陶磁器
①現状	全処理委託量	123.062t	0.43t	13.49t	100.74t	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	119.08t	0.43t	13.49t	100.11t	
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	121.46t		13.46t	88.33t	
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量					
	認定熱回収業者以外の 熱処理を行う業者への 処 理 委 託 量					
	(これまでに実施した取組) 現場内での分別作業					
			【目標】			
		産業廃棄物の種類	廃プラスチック	廃油	廃プラ・繊維	ガラス陶磁器
②計画	全処理委託量	119.5t	0.4t	13.4t	100.0t	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量					
	再生利用業者への 処 理 委 託 量					
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量					
	認定熱回収業者以外の 熱処理を行う業者への 処 理 委 託 量					
	(今後実施する予定の取組) 現場内での分別作業					

産業廃棄物の処理の委託に関する事項						
①現状	【前年度(令和4年度)実績】					
	産業廃棄物の種類	石膏ボード	紙くず	金属くず	燃えがら	
	全処理委託量	134.18t	0.023t	5.33t	2.86t	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	10.40t	0.02t			
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	134.18t	0.02t	5.33t		
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量					
	認定熱回収業者以外の 熱処理を行う業者への 処 理 委 託 量					
	(これまでに実施した取組) 現場内での分別作業					
	②計画	【目標】				
		産業廃棄物の種類	石膏ボード	紙くず	金属くず	燃えがら
全処理委託量		130.0t	0.0t	5.0t	2.0t	
優良認定処理業者への 処 理 委 託 量						
再生利用業者への 処 理 委 託 量						
認定熱回収業者への 処 理 委 託 量						
認定熱回収業者以外の 熱処理を行う業者への 処 理 委 託 量						
(今後実施する予定の取組) 現場内での分別作業						

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

産業廃棄物の処理の委託に関する事項					
①現状	【前年度(令和3年度)実績】				
	産業廃棄物の種類	混合廃棄物 (安定型)	混合廃棄物 (管理型)	水銀使用製品 産業廃棄物	
	全処理委託量	0.36t	24.39t	0.551t	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0.24t	23.34t		
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0.36t	24.39t	0.551t	
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量				
	認定熱回収業者以外の 熱処理を行う業者への 処 理 委 託 量				
	(これまでに実施した取組) 現場内での分別作業				
	②計画	【目標】			
		産業廃棄物の種類	混合廃棄物 (安定型)	混合廃棄物 (管理型)	水銀使用製品 産業廃棄物
全処理委託量		0.0t	24.0t	0.5t	
優良認定処理業者への 処 理 委 託 量					
再生利用業者への 処 理 委 託 量					
認定熱回収業者への 処 理 委 託 量					
認定熱回収業者以外の 熱処理を行う業者への 処 理 委 託 量					
(今後実施する予定の取組) 現場内での分別作業					